



ムジカ・レセルヴァータによる

鶴見
de
古楽

「趣味の融合」フランスからバッハへ～



J.S.バッハ リュート組曲 ト短調 BWV995 より ～ プレリュード (チェンバロ・ソロ)

J.G.ゴルトベルク (伝J.S.バッハ) トリオ・ソナタハ長調 DürG 13 (BWV1037)

C.ペッツォール トリオ・ソナタ ニ長調

J=F.ダンドリユー トリオ・ソナタ 第一番 ニ短調 Op.1-1

F.クープラン トリオ・ソナタ「壮麗さ」イ長調 他

※都合により一部曲目が変更となる場合がございます

2025/1/30

木

鶴見区民文化センター
サルビアホール3f 音楽ホール

出演： ムジカ・レセルヴァータ 国枝俊太郎 / 小野万里 / 高橋弘治 / 岡田龍之介

フラウト・トラヴェルソ

バロック・ヴァイオリン

ヴィオラ・ダ・ガンバ

チェンバロ

開場 18:30 / 開演 19:00

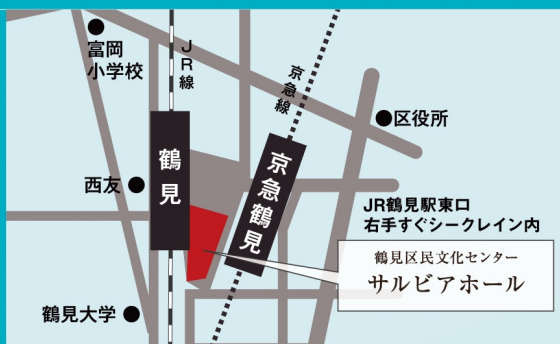
<https://pia.jp/>



全席
自由席

チケットレス・事前振込・完全予約制

¥4,200 (税込) ペア ¥7,700 (税込)



主催：(一社) VIA GALLERIA

メール申込

info@viagalleria.or.jp

＜公演に寄せて＞「趣味の融合」フランスからバッハへ

結成15年を迎える名手ぞろいのアンサンブル：ムジカ・レセルヴァータが、久しぶりに新たなテーマで再スタート、豊かな魅力で彩られたステージが始まります。題して～「趣味の融合」フランスからバッハへ～。クーブランの時代のフランスではイタリア趣味とフランス趣味の融合を目指した音楽が作り出され、ほぼ時を同じくしてバッハの時代のドイツではイタリア様式とフランス様式の音楽を融合した音楽が作られていました。バッハ自身もフランスとイタリアの様式を貪欲に研究し、二つの趣味を取り入れた作品を残しています。今回は、そんな時代の流れと波及の文化史を辿るように、ダンドリューやクーブランの名曲を楽しみつつ、バッハやその時代のドイツの音楽家たちによる「趣味の融合」の進展を追体験し、その軌跡に触れる演奏をお楽しみ頂きます。

PROFILE

国枝 俊太郎 フラウト・トラヴェルソ

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故中村忠の各氏に師事。1995年開催の第16回全日本リコーダー・コンテスト「一般の部・アンサンブル部門」にて金賞を受賞。これまで東京リコーダー・オーケストラのメンバーとして数々のコンサートに参加し、NHK教育テレビ「ふえはうたう」「トウトゥアンサンブル」に出演、CD録音にも加わっている。また「ムシカ・フラウタ」のメンバーとしても、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演する。現在はバロック室内楽を中心に、古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動を行っている。バロックアンサンブル「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。

高橋 弘治 ヴィオラ・ダ・ガンバ

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。2001年から2007年まで「ラ・プティット・バンド」のメンバーとして演奏活動を行う。ソロ活動として2018年から2020年まで「鶴見de古楽」シリーズにおいて「J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲」全曲演奏会（全3回）を開催、第1回公演では「音楽の友」誌に批評が掲載されるなど好評を得る。藤原歌劇団公演A.スカララッティ歌劇「貞節の勝利」などのバロック・オペラ公演に参加。これまでに「イル・ガレリーノ」「カプリオーラ・ディ・ジョイア」、バロック・ヴァイオリン奏者D.モンティなど海外アーティストと共演する。最近では指揮者として、東海バロックプロジェクト創設10周年企画においてヘンデル「メサイア」全曲を指揮して好評を博すなど活発な演奏活動を展開している。

[チケットぴあ]

<https://bit.ly/3XnSqmO>

Pコード：280704



小野 萬里 バロック・ヴァイオリン

東京藝術大学卒業。在学中バロック・ヴァイオリン、古楽の研究を始め、1973年ベルギーでシギスヴァルト・クイケンに師事。帰国後ソリスト、アンサンブル奏者として、また東京バッハ・モーツァルト・オーケストラやバッハ・コレギウム・ジャパンなど国内主要オーケストラで活躍。99年バロック・ヴァイオリニスト木村三穂子氏とヴァイオリン・デュオ「Due Canti」を結成、日本・ドイツでコンサートツアーを行っている。ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者故アウグスト・ヴェンツィンガーや故エドゥアルト・ミュラー、テノール歌手のクルト・エクヴィルツ、リコーダー奏者の故フランス・ブリュッヘン、故多田逸郎、小林道夫、故大橋敏成各氏など古楽パイオニアたちと共演を重ねた。現在は「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。弦楽器の集まりSONORE CORDIを指導している。

岡田龍之介 チェンバロ

慶應義塾大学、東京藝術大学卒業、藝大大学院修了。チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。全国各地で演奏活動を行い、国内外の優れたバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。最近では「ザロモン室内管弦楽団」や「Ars Nova新潟」の指揮者を務める等、指揮活動にも力を注ぐ。第13、23回山梨古楽コンクール審査員。ソロCD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選盤)をはじめ12枚のCDをリリース。都留音楽祭講師(2017)。洗足学園音楽大学講師(2021)。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。FM鴻巣「クラシックの散歩道」パーソナリティ。日本チェンバロ協会前会長。

[ホームページ申込画面]

<https://bit.ly/3yO1Ssq>



[銀行振込でのお支払い]

<https://bit.ly/3Z67I0E>



電話申し込み

tel. 045-961-0813 (岡田)

メール申し込み

info@viagalleria.or.jp

お問合せ

[メール] info@viagalleria.or.jp

[電話] 045-961-0813 岡田

[ホームページ] <http://viagalleria.or.jp/>

「ムジカ・レセルヴァータによる テレマン パリカルテット Vol.2」ライブ CD

絶賛販売中

バロック室内楽最高峰の Vol.2：新しい四重奏曲全曲収録。残部少なくなりました、お早めにお求めください。

価格：3200円(税込・送料込み)

ウェブ申し込み ▶ <https://bit.ly/3PZyItL>



QRコード申込

